

種痘に関する文書を読む 解答

慶応二年（一八六六）三月 種痘請書

〔鈴木（庸）家文書No.三七六〕

（表紙）

「慶應（応）二寅年三月
種痘請書

宮前村組

六ヶ村」

差出申一札之事

一、兼而被 仰出候種痘之義先達而御廻状を以
御達し之旨承知仕、早速小前之もの江申
通候得共、今以種痘相願候者不罷出趣二而、猶
又各方江被 仰渡候二付其段委細御達
被下承知仕候、依而者早々小前之者江申聞
難有御主意不行違様可仕候、依之一札
差出申處（処）、如件

慶應（応）二丙寅年二月

上新堀村

名主 玄之助 印

紫竹村 〃 徹次郎 印

平沼村 〃 定次郎 印

白井沼村 組頭 榎太郎 印

出丸中郷

〃 谷嶋半平 ㊦

宮前村

組頭 仙七 ㊦

頭取御名主

鈴木久兵衛殿

鹿山兵右衛門殿

【読み下し】

(表紙)

「慶應二寅年三月

種痘請書

宮前村組 六ヶ村」

差し出し申す一札の事

一、兼て 仰せ出され候種痘の義、先達て御廻状を以て御達しの旨承知仕り、早速小前のものえ申し通し候得とも、今以て種痘相願い候者罷り出でざる趣にて、猶又各方え仰せ渡され候に付、其段委細御達し下され承知仕り候、依りては早々小前の者え申し聞かせ有難き御主意行き違わず様仕るべく候、之に依り一札差し出し申す處、件の如し

慶應二丙寅年二月

上新堀村

名主 玄之助 ㊦

紫竹村

〃 徹次郎 ㊦

平沼村

〃 定次郎 ㊦

白井沼村

組頭 榎太郎

㊦

出丸中郷

〃 谷嶋半平

㊦

宮前村

組頭 仙七

㊦

頭取御名主

鈴木久兵衛殿

鹿山兵右衛門殿